

— あさひ燦々 —

理念 地域の人々と勤労者の方々に信頼される医療を提供します 第33号(2020.6月号)

巻頭言

新病院完成—そしてグランドオープンへ—



独立行政法人労働者健康安全機構 旭ろうさい病院
事務局長 近藤 誠介

この4月から旭ろうさい病院の事務局長として着任いたしました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

当院は地域のじん肺患者さんの治療・療養のための施設として昭和35年に開院し今年で60年を迎えますが、その間に少子高齢化を始めとした地域の医療構造も変遷しております。これに対応するため当院は全面増改築工事を実施し、令和への改元と同時の昨年5月1日に新病院が完成してちょうど1年が経過したところです。新病院においては、最新のCT、MRIなどの医療機器を更新して設

備が新しくなっただけでなく、地域における様々な医療の場面に適切に対応できるよう、250床の一般病床を見直し、

①ICU(特定集中治療室)4床、②一般急性期病床196床、③地域包括ケア病床50床に機能分化しました。これによって、発症直後の超急性期から、病状が安定して自宅復帰していくまで、その時期ごとに患者さんに必要とされる最適な医療を、切れ目なく提供していく体制を整備することができ、近代的な医療機関として生まれ変わりました。



なお、これらの取組みに加えて、地域の医療機関との病診連携に努めたことも評価され、4月1日付けで愛知県知事より県内28番目の「**地域医療支援病院**」の承認を受けました。今後も引き続き近隣の関係機関と連携して地域医療を推進してまいります。

現在進行中の駐車場工事もまもなく完成し、6月1日に「**旭ろうさい病院グランドオープン**」を迎えます。当院は市北部の丘陵地にあり、従来の駐車場はかなり高低差がありましたが、これからは**フラットな207台の駐車場**から正面玄関に

高低差なく移動できるようになります。

また、巡回バスについても旭ろうさい病院バス、尾張旭市公共バス「あさび一号」に加えて、10月から**名古屋市営バス**（志段味巡回：小幡⇄東谷山フルーツパーク）の正面玄関への乗り入れが決定しており、利用者のアクセスが飛躍的に向上することが期待できます。

今後も地域の人々と勤労者の方々の利便性を高め、信頼される医療を提供できるよう、旭ろうさい病院は成長を続けてまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

特 集

入院前から退院後まで患者さんに寄り添う入退院支援センター



独立行政法人 労働者健康安全機構 旭ろうさい病院
看護部長 瀧谷 樹美

当院は、昨年5月に新病院へ移転し、早1年が過ぎました。今回、新病院になって新しく立ち上げた入退院支援センターについてご紹介いたします。

当センターは、患者さんが入院から退院後まで安心して医療を受けられるためのサービス提供とその支援をすることを目的としています。

入院支援

皆さんは、医師から「入院をして治療をしましょう」と伝えられると、病気に関する治療、手術、検査などに対する不安を感じられると思います。これまでは、入院が予定された際、それぞれの診療科において

外来看護師が、入院や手術に必要な検査、説明を診療介助と並行しながら実施していました。そのため、患者さんの待ち時間が長くなるだけでなく、プライバシーの保持が難しい環境の中で、患者さんやご家族のもつ不安や疑問を十分にうかがうことができないまま入院・手術にいたるということも起こっていました。現在、入退院センターでは患者さんをお待たせすることなく、プライバシー保護に留意し、入院が決定した当日に、入退院を支援する専門の看護師が、患者さんの身体的・社会的・心理的状況を患者さんやご家族にお話をうかがっています。入院診療に必要な情報を看護師・医療ソーシャルワーカー・薬剤師

など多職種と共有し、連携して入院前から退院後を見据えた支援を行っています。例えば、内服薬などを入院前に把握することで、手術前に中止しなければならないお薬やアレルギーなどの確認を行い、医療の安全性の向上を図ることができています。そして、患者さん・ご家族から入院生活に対するご希望や不安などをお聞きし不安の解消に努めています。

しかし、当院に予定入院される患者さんは入院患者全体の3割で、多くの患者さんは緊急入院です。緊急入院された患者さんは、予定入院された患者さんよりも退院後の支援を必要とする方が多くいます。緊急入院の患者さんに対しても、当センターの看護師は入院早期から病棟看護師と共に、患者さんの状況を確認し退院後を見据えた支援を同様に多職種で行っています。

退院支援

退院支援とは患者さんがご自身の病気や障害を理解し、受けとめ、折り合いをつけながら、退院後どのような生活を送るか、どこで療養するかを自己決定するための

支援をいいます。

入院治療を受けたけれど、入院前とは生活・暮らしが変わったり、退院後も医療処置や管理が必要で暮らしの場に医療のサポートがないと暮らせない可能性のある患者さんがいます。特に高齢者は、入院期間が長いほど生活機能全般が衰えやすく、元の生活に戻るのが困難といわれています。近年、1人暮らしの高齢者が多く、完治してもすぐに元の生活に戻るのが難しい方がいます。住み慣れた自宅で暮らし続けたいという患者さんの希望に応えるために、入院の早い時期から介護サービスなどの社会資源活用についての相談をお受けし、さまざまな不安を持っている患者さんやご家族が安心して療養生活を送ることができるように努めています。

当センターでは、患者さんやご家族の思いに寄り添い支援ができるよう病院内外の多職種への橋渡しや連携ができるよう関わっていきたいと考えています。

入退院に関する不安や疑問があればいつでもお応えしますので、お気軽に入退院支援センターにご相談下さい。



診療トピックス



手軽にできる誤嚥性肺炎の予防

耳鼻咽喉科部長 清水 崇博

誤嚥性肺炎とは

ものを飲み込むとき、口から食道へはいるべきものが気管へ入ってしまうことを誤嚥といいます。誤嚥したものに含まれている細菌によって引き起こされる肺炎が誤嚥

性肺炎です。高齢者の肺炎のうち7割以上が誤嚥性肺炎であるといわれています。

誤嚥性肺炎の発症

誤嚥性肺炎発症のメカニズムには、個人

の抵抗力と誤嚥物の侵襲性のバランスが大きく関与しています。抵抗力とは、肺に入ってきた異物・細菌を肺の外に出す喀出力や免疫力などです。誤嚥物の侵襲性とは、肺に入ってきた異物・細菌の病原性、化学的侵襲性、量、侵入部位などです。抵抗力の方が勝れば、誤嚥をしても必ずしも誤嚥性肺炎を発症するというわけではありません。

抵抗力に関する要因として、口腔の衛生状態、口腔機能、嚥下機能、栄養状態、身体機能、消化管機能、定期内服薬、基礎疾患などが挙げられます。これらを低下させないことが、誤嚥性肺炎の予防になると考えられます。

誤嚥性肺炎の予防

誤嚥性肺炎の予防には、口腔ケア、リハビリテーション、栄養管理、食事形態の工夫、食事の姿勢の工夫、薬の工夫、食事介助技術などがあり、一人ひとりの状況に合った予防を行うことが重要です。そのなかでも手軽に行えそうな予防法として、嚥下機能を鍛える体操をいくつか挙げていきたい思います。

のど体操

のどの筋肉、首の筋肉、口、頬、舌など嚥下に関する各部位を動かしてストレッチします。日々繰り返し行うことで効果が期待できますので、長く継続することが大切です。

①嚥下おでこ体操

おでこに手根部を当てて、おでこで手を押し合いをする体操です。頭はおへそをのぞき込むような恰好で下方向へ強く力を込めていき、手根部は上方向へ力を込め、頭に負けないくらいの力でおでこを押し戻していきます。押し合っている状態を5秒間キープします。これを5～10回繰り返します。力を入れて押し合ったときに、のど仏あたりに力がいっているように感じられるとよいです。

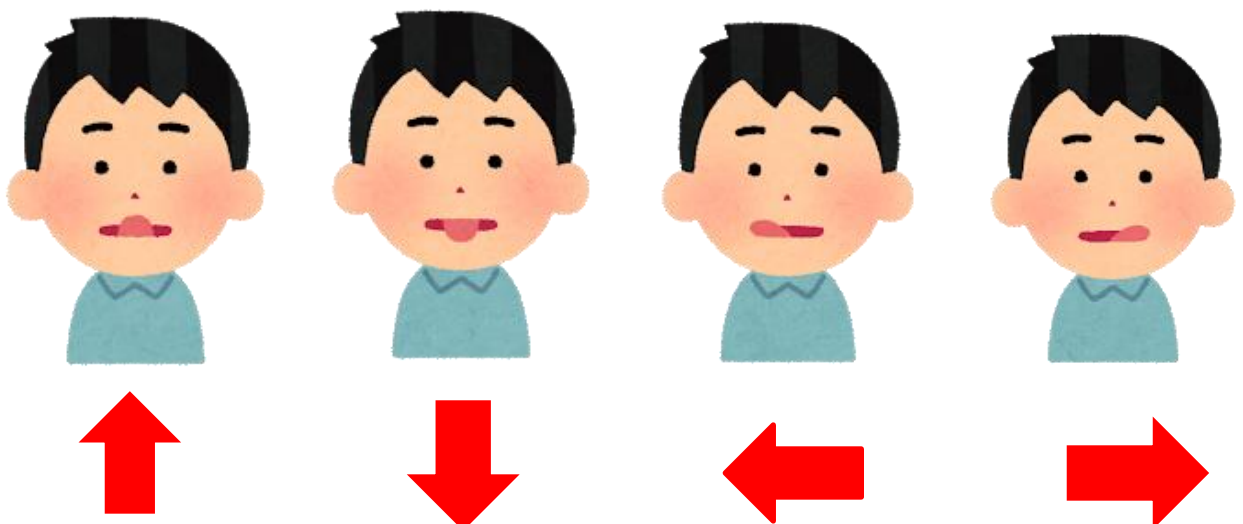
②あご持ち上げ体操

あご先に両手の親指を当てて、押し合いをします。頭はあごを引き、顔を下へ向けて下方向へ力を込めていきます。手は親指に力を入れて、あごを持ち上げるように押し返していきます。押し合っている状態を5秒間キープし、5～10回繰り返します。

③舌出し体操

口を開いて思いっきり舌を突き出します。そして、「上」「下」「左」「右」の順に動かしていきます。それぞれの方向へ、突き出した舌を曲げられるだけ曲げます。これを2～3回繰り返します。

食べるということは、栄養を摂取するだけでなく日々の楽しみのひとつでもあります。誤嚥性肺炎を予防することは、食べるという楽しみを長く続けられることにもつながりますので、とても重要なことであるといえます。





教えてドクターQ&A

【質問】

数か月前から、いぼ痔だと思われるでっぱりがお尻にあることに気が付きました。痛くもないので放っておいていたら、最近になって激しく痛むようになり、排便時に出血するようになりました。とにかく痛くて、仕事（長距離トラックの運送業）にも差し支えます。触ってみると以前より大きくなっているように思われます。どこの医者にも診てもらえばよいのでしょうか？どうか教えてください。あと、手術は怖いので勘弁してください。（50代男性）



ご質問に答えさせていただきます。診察は外科（肛門科）です。お尻の病気の中では痔が一番有名ですね。症状は出血、痛み、腫れ、肛門から出る、かゆみ、粘液が出るなどがあります。部位によって内痔核と外痔核と呼ばれます。内痔核の重症度分類ではⅠ度：便の時に腫れるが肛門から出ない、Ⅱ度：便の時に肛門から出るが終わると戻る、Ⅲ度：便の時に肛門から出るが手で戻すことが出来る、Ⅳ度：いつも肛門から出ている、とされています。症状や生活環境にもよりますがまずは生活習慣の改善（便秘のコントロール、長時間の座位をしない、過度の飲酒をしない、ストレスなどを避ける等）とお薬での治療（保存的治療）から開始されることがほとんどです（Ⅲ度程度までの適応）。その他には硬化療法や手術療法があり、経過や症状でこちらの治療法を優先する場合もあります。

他に要注意な病気は癌です。今回お問い合わせの症状は肛門近くの癌でも当てはまることがあります。痔だと思って放置していたら癌だったとか、近くに癌があることに気づけなかったということは決して珍しいことではありません。

お尻の病気はとても気になりますが自分で直接見ることも出来ません。また人に見せたくともありませんよね。でもお早めに受診されることをお勧めします。

～新人職員入職について～



令和2年4月1日（水）より本年度の新規採用職員が入職しました。
本年度は看護師23人、薬剤師1名、理学療法士1名、作業療法士1名、事務職2名の計28名のこれから病院を支える貴重な正規職員が採用となりました。

～病院バスの運行時刻について～

令和2年6月1日から病院バスの運行時間に変更となりました。病院バスご利用の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



○令和2年6月1日（月）からの時刻表

【印場・藤が丘方面】

便番号	病院発	印場駅	藤が丘発	印場駅発	病院着
1	7:10	—	7:30	7:50	8:00
2	8:20	—	8:40	9:00	9:10
3	9:25	9:30	9:50	10:10	10:30
4	10:45	10:50	11:10	11:30	11:40
5	12:00	12:05	12:25	12:45	12:55
6	13:05	13:10	—	—	13:20
7	13:35	13:40	—	—	13:50
8	14:25	14:30	14:50	15:10	15:20

※土・日・祝・年末年始は運休

【下志段味・吉根方面】

便番号	病院発	志段味交番	下島	病院着
1	9:10	9:20	9:30	9:50
2	10:10	10:20	10:30	10:50
3	13:30	13:40	13:50	14:10

※土・日・祝・年末年始は運休

【編集後記】

「緊急事態宣言解除に思う」

国における法に基づく緊急事態宣言により4月7日に東京、神奈川、大阪などの7都府県が、さらに4月16日から日本全国が、不要不急の外出を控える自粛生活となりました。効果が表れたのか感染者が減少に転じ、5月14日には39県においては約1ヶ月ぶりに宣言が解除され、愛知県も段階的に制限が緩和されています。

私は1月からNHKのBS放送“ワールドニュース”を録画して毎日視聴していたので、日本での新型コロナの感染は欧米の様なひどい状況になるものと考えていました。感染の第一波が落ち着きつつあるのは奇跡的な幸運だと思います。公衆衛生や感染対策の専門家によると、一見持ちこたえたように見えますが東京圏などは感染爆発のギリギリのところだったそうです。今後も警戒と備えが必要です。自分自身と周りの人のためにも、お互いに油断せずに過ごしていければと思います。

（広報委員長）



2020年6月1日

グランドオープン

・駐車場から正面玄関までをフラット化

旧病院を取り壊し、その跡地を患者用駐車場として整備しました。

これまでは丘陵地で高低差のある飛び地の駐車場でしたが、整備することで駐車場から病院建物入口までのフラット化を実現しました。

・正面玄関（救急入口、バス停）整備による利便性向上

正面玄関周辺の整備を行い、救急車及びバス等の受入をスムーズにすることで、利便性が向上しました。

旭労災病院 令和2年6月 外来診療担当医表

受付時間 8:15~11:30

急患の場合は上記受付時間以外でも受付いたします。予めお電話でお問い合わせください。

電話番号 0561-54-3131

*印は代務医師となります。

令和2年6月1日現在

診療科名		月	火	水	木	金
呼吸器内科	1	加藤 宗博	鈴木 悠斗	加藤 宗博	横山多佳子	鈴木 悠斗
	2	伊藤 圭馬	曾根 一輝		黒川 良太	伊藤 圭馬
禁煙外来 (完全予約制)						横山 多佳子 (14:30-16:30)
消化器内科	1	松田 大知	小笹 貴士	松田 大知	齋田 康彦	小笹 貴士
	2	寺島 良幸	鈴木 恵里奈	鈴木 恵里奈	加藤 駿介	加藤 駿介
総合内科	1	宮武 仁志	寺島 良幸	磯谷 俊太郎	*白神 一秀	小栗 太一
	2		熊西 亮介			樹下 華苗
膠原病内科						*上原 幸治 (AM)
糖尿病 内分泌内科	1	阿部 浩子	小栗 太一	小栗 太一 (AM)	阿部 浩子	阿部 浩子
	2	小川 浩平	中林 廉太 (AM)	小川 浩平	小川 浩平	中林 廉太 (AM)
小児糖尿病外来 (完全予約制)						小川 浩平 (15:45-16:45)
循環器内科	1	秋田 展克	*森 賢人	*沢田 博章	竹政 啓子	玉井 希
	2		*天野 哲也		*松尾 功 (PM)	
腎臓内科		柴田 裕子 (AM)		市川 匡 (AM)		
糖尿病 透析予防外来					市川 匡 (PM)	
血液内科		*飯田 真介 (AM)				
神経内科		長江 雄二	*山田 晋一郎		長江 雄二	*大野 雄也
認知症外来			長江 雄二 (PM)			
健 診 (AM)		宇佐美 郁治			*武田 典久	横山 多佳子
健 診 (PM)		横山 多佳子	*曾根 一輝		*黒川 良太	
精 神 科		休 診				
小 児 科		桑原 里美 大江 雅美子 (AM) 発達支援外来 (安藤郁子第2、4 PM) (PM予約外来・予防接種)	桑原里美 (第3週AMのみ) *中島 葉子 (AM) 発達支援外来 (安藤郁子) (PM予約外来・予防接種)	桑原 里美 大江 雅美子 (AM) 発達支援外来 (安藤郁子) (*小川信子第1、2、4 週) (PM予約外来・予防接種)	桑原 里美 (AM) *山口 あつ子 (AM) 発達支援外来 (安藤郁子) (*北山達成第3週) (PM予約外来)	桑原 里美 (AM) 大江 雅美子 (PM予約外来・予防接種)
外 科	1	小川 敦司	中川 陽史	小川 敦司	*井垣 啓	井田 英臣
	2	井田 英臣	高野 学	*当番医	中川 陽史	高野 学
脳神経外科		丹羽 裕史	丹羽 裕史	丹羽 裕史	丹羽 裕史	丹羽 裕史
整形外科		花林 昭裕 浅野 雄資 永井 修平	花林 昭裕 *北本 和督 橋本 康平	浅野 雄資 與吾 一幸 *井上 真輔 (PM)	花林 昭裕 *木全 則文 與吾 一幸 橋本 康平	浅野 雄資 永井 修平
皮 膚 科		榊原 代幸	榊原 代幸	榊原 代幸 (PM学童外来)	榊原 代幸	榊原 代幸
泌尿器科		飛梅 基 *馬嶋剛 (AM)	飛梅 基	飛梅 基 *西川源也 (第2、4 AM)	飛梅 基	飛梅 基
婦人科		*安藤 茉衣子	*安藤 茉衣子		*安藤 茉衣子	
眼 科		丹羽 慶子	丹羽 慶子	丹羽 慶子	丹羽 慶子	丹羽 慶子
耳鼻咽喉科		清水 崇博 *川出 早紀	清水 崇博 *川出 由佳	清水 崇博 *小口 絵羽	清水 崇博 *中野 淳	清水 崇博 *藤本 保志

※業務上の都合等で各科担当医師が変更になる場合がありますのでご了承ください。
(休診、代診のお知らせはインフォメーション横に掲示しておりますのでご確認ください)
※旭労災病院バスの運行に関しては、インフォメーションにお尋ねください。